

【様式1】 CAN-DO LIST 2026

学校名:	鹿児島県立徳之島	高等学校	大学科:	普通科
科目名:	英語コミュニケーション I		学年	1年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価方法	学期	CS
Listening	L1 <input type="checkbox"/>	自分のことや日常的な話題について、ゆっくり話されれば、話者の意図を理解することができる。	3・4	考査	1学期	ア
	L2 <input type="checkbox"/>	環境や食糧資源に関する話題について、ゆっくりはっきりと話されれば、その説明の要点を理解することができる。	7・8	考査	2学期	ア
	L3 <input type="checkbox"/>	異文化や社会的な話題に関する文章を、ゆっくりはっきりと話されれば、要点を理解することができる。	9・10	考査	3学期	イ
Reading	R1 <input type="checkbox"/>	日本の文化やスポーツなど、なじみのある内容の文章の要点を理解したり、必要な情報を取り出したりすることができる。	3・4	考査	1学期	ア
	R2 <input type="checkbox"/>	食糧資源やプラスチックゴミなど社会的問題となっている話題について、語彙指導があれば要点を理解することができる。	7・8	考査	2学期	ア
	R3 <input type="checkbox"/>	異文化や自伝などの新聞記事に関して、必要な情報を読み取り、話の概要を捉えることができる。	9・10	考査	3学期	イ
Speaking Interaction	SI1 <input type="checkbox"/>	簡単な英語で、自分の興味のあるスポーツに関して、その特徴や好きな理由について、相手に伝えることができる。	3・4	インタビュー テスト	1学期	ア
	SI2 <input type="checkbox"/>	環境問題や社会的な話題について、簡単な英語を用い、あらかじめ用意した事柄であれば、質問に答えることができる。	7・8	インタビュー テスト	2学期	ア
	SI3 <input type="checkbox"/>	前もって話すことを用意した上で授業で学んだ語句等を用いて、論理性に注意して相手に説明することができる。	9・10	インタビュー テスト	3学期	イ
Speaking Presentation	SP1 <input type="checkbox"/>	教科書に出てくる簡単な語句や文を用いて、メモ等の助けがあれば、内容を説明し、自分の意見を述べることができる。	3・4	リテリング	1学期	ア
	SP2 <input type="checkbox"/>	教科書に出てくる簡単な語句や文を用いて、メモ等の少しの助けがあれば、内容を説明し、理由もつけて自分の意見を述べるができる。	7・8	リテリング	2学期	ア
	SP3 <input type="checkbox"/>	教科書に出てくる簡単な語句や文を用いて、イラスト等を用いながら内容を説明し、自分の言葉も使って相手に伝えることができる。	9・10	リテリング	3学期	イ
Writing	W1 <input type="checkbox"/>	簡単な語彙や句、文で、日常的な話題について説明文などのまとまりのある文章を書くことができる。	3・4	考査	1学期	ア
	W2 <input type="checkbox"/>	食糧問題や環境問題などについて、事前の準備があれば、自分の考えを述べるができる。	7・8	考査	2学期	イ
	W3 <input type="checkbox"/>	賛成や反対の立場を明記しながら、基本的な語句や文を用いて自分の考えを書くことができる。	9・10	考査	3学期	イ

※一番右の欄のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式1】 CAN-DO LIST 2026

学校名:	鹿児島県立徳之島	高等学校	大学科:	総合
科目名:	英語コミュニケーション I		学年	1年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価方法	学期	CS
Listening	L1 <input type="checkbox"/>	自分のことや日常的な話題について、ゆっくり丁寧に話されれば、話者の意図の概要を理解することができる。	3・4	考査	1学期	ア
	L2 <input type="checkbox"/>	教科書の話題について、ゆっくりはっきりと話されれば、その説明の要点を理解することができる。	7・8	考査	2学期	ア
	L3 <input type="checkbox"/>	異文化や社会的な話題に関する文章を、ゆっくりはっきりと話されれば、要点を理解することができる。	9・10	考査	3学期	イ
Reading	R1 <input type="checkbox"/>	スポーツなどなじみのある内容について、丁寧な語彙指導があれば、必要な情報を取り出すことができる。	3・4	考査	1学期	ア
	R2 <input type="checkbox"/>	科学的内容や社会的問題について、様々な読み方を行うことで要点を理解することができる。	7・8	考査	2学期	ア
	R3 <input type="checkbox"/>	異文化や社会的問題に関して、必要な情報を読み取り、話の概要を捉えることができる。	9・10	考査	3学期	イ
Speaking Interaction	SI1 <input type="checkbox"/>	自分の興味のあるスポーツに関して、その特徴や好きな理由について、簡単な英語で相手に伝えることができる。	3・4	インタビュー テスト	1学期	ア
	SI2 <input type="checkbox"/>	社会的な話題等について、簡単な英語を用い、あらかじめ用意した事柄であれば、簡単な質問に答えることができる。	7・8	インタビュー テスト	2学期	ア
	SI3 <input type="checkbox"/>	あらかじめ話すことを用意した上で、授業で学んだ語句等を用いて、伝えたいことを順序立てて相手に説明することができる。	9・10	インタビュー テスト	3学期	イ
Speaking Presentation	SP1 <input type="checkbox"/>	本文に出てくる簡単な語句や文を用いて、メモ等の助けがあれば、内容を説明し、自分の意見を述べるすることができる。	3・4	リテリング	1学期	ア
	SP2 <input type="checkbox"/>	教科書に出てくる簡単な語句や文を用いて、メモ等の少しの助けがあれば、内容を説明し、理由もつけて自分の意見を述べるすることができる。	7・8	リテリング	2学期	ア
	SP3 <input type="checkbox"/>	教科書に出てくる簡単な語句や文を用いて、イラスト等を用いながら内容を説明し、自分の言葉も使って相手に伝えることができる。	9・10	リテリング	3学期	イ
Writing	W1 <input type="checkbox"/>	簡単な語彙や句、文で、日常的な話題について30語程度の文章を書くことができる。	3・4	考査	1学期	ア
	W2 <input type="checkbox"/>	身の回りの事柄について、事前の準備があれば、自分の考えを理由も含めて述べるすることができる。	7・8	考査	2学期	イ
	W3 <input type="checkbox"/>	賛成や反対の立場を明記しながら、基本的な語句や文を用いて自分の考えを書くことができる。	9・10	考査	3学期	イ

※一番右の欄のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2026

学校名:	鹿児島県立徳之島	高等学校	学 年:	1年
科目名:	英語コミュニケーション I		大学科:	普通科

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	6	3・4	L	ア	考查	L1□	自分のことや日常的な話題について、ゆっくり話されれば、話者の意図を理解することができる。
	6	3・4	R	ア	考查	R1□	日本の文化やスポーツなど、なじみのある内容の文章の要点を理解したり、必要な情報を取り出したりすることができる。
	6	3・4	SI	ア	インタビューテスト	SI1□	簡単な英語で、自分の興味のあるスポーツに関して、その特徴や好きな理由について、相手に伝えることができる。
	6	3・4	SP	ア	リテリング	SP1□	教科書に出てくる簡単な語句や文を用いて、メモ等の助けがあれば、内容を説明し、自分の意見を述べるすることができる。
	6	3・4	W	ア	考查	W1□	簡単な語彙や句、文で、日常的な話題について説明文などのまとまりのある文章を書くことができる。
2	11	7・8	L	ア	考查	L2□	環境や食糧資源に関する話題について、ゆっくりはっきりと話されれば、その説明の要点を理解することができる。
	11	7・8	R	ア	考查	R2□	食糧資源やプラスチックゴミなど社会的問題となっている話題について、語彙指導があれば要点を理解することができる。
	11	7・8	SI	ア	インタビューテスト	SI2□	環境問題や社会的な話題について、簡単な英語を用い、あらかじめ用意した事柄であれば、質問に答えることができる。
	11	7・8	SP	ア	リテリング	SP2□	教科書に出てくる簡単な語句や文を用いて、メモ等の少しの助けがあれば、内容を説明し、理由もつけて自分の意見を述べるすることができる。
	11	7・8	W	イ	考查	W2□	食糧問題や環境問題などについて、事前の準備があれば、自分の考えを述べるすることができる。
3	2	9・10	L	イ	考查	L3□	異文化や社会的な話題に関する文章を、ゆっくりはっきりと話されれば、要点を理解することができる。
	2	9・10	R	イ	考查	R3□	異文化や自伝などの新聞記事に関して、必要な情報を読み取り、話の概要を捉えることができる。
	2	9・10	SI	イ	インタビューテスト	SI3□	前もって話すことを用意した上で授業で学んだ語句等を用いて、論理性に注意して相手に説明することができる。
	2	9・10	SP	イ	リテリング	SP3□	教科書に出てくる簡単な語句や文を用いて、イラスト等を用いながら内容を説明し、自分の言葉も使って相手に伝えることができる。
	2	9・10	W	イ	考查	W3□	賛成や反対の立場を明記しながら、基本的な語句や文を用いて自分の考えを書くことができる。

【様式2】 年間指導計画 2026

学校名:	鹿児島県立徳之島	高等学校	学 年:	1年
科目名:	英語コミュニケーション I		大学科:	総合

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	6	3・4	L	ア	考查	L1□	自分のことや日常的な話題について、ゆっくり丁寧に話されれば、話者の意図の概要を理解することができる。
	6	3・4	R	ア	考查	R1□	スポーツなどなじみのある内容について、丁寧な語彙指導があれば、必要な情報を取り出すことができる。
	6	3・4	SI	ア	インタビューテスト	SI1□	自分の興味のあるスポーツに関して、その特徴や好きな理由について、簡単な英語で相手に伝えることができる。
	6	3・4	SP	ア	リテリング	SP1□	本文に出てくる簡単な語句や文を用いて、メモ等の助けがあれば、内容を説明し、自分の意見を述べることができる。
	6	3・4	W	ア	考查	W1□	簡単な語彙や句、文で、日常的な話題について30語程度の文章を書くことができる。
2	11	7・8	L	ア	考查	L2□	教科書の話題について、ゆっくりはっきりと話されれば、要点を理解することができる。
	11	7・8	R	ア	考查	R2□	科学的内容や社会的問題について、繰り返して様々な読み方を行うことで要点を理解することができる。
	11	7・8	SI	ア	インタビューテスト	SI2□	社会的な話題等について、簡単な英語を用い、あらかじめ与えられた事柄であれば、簡単な質問に答えることができる。
	11	7・8	SP	ア	リテリング	SP2□	教科書に出てくる簡単な語句や文を用いて、メモ等の少しの助けがあれば、内容を説明し、理由とともに自分の意見を述べるすることができる。
	11	7・8	W	イ	考查	W2□	身の回りの事柄について、事前の準備があれば、自分の考えを理由も含めて述べるすることができる。
3	2	9・10	L	イ	考查	L3□	異文化に関するものや社会的な話題に関する文章を、ゆっくりはっきりと話されれば、要点を理解することができる。
	2	9・10	R	イ	考查	R3□	異文化や社会的問題に関して、必要な情報を読み取り、話の概要を捉えることができる。
	2	9・10	SI	イ	インタビューテスト	SI3□	あらかじめ話すことを用意した上で、授業で学んだ語句等を用いて、伝えたいことを順序立てて相手に説明することができる。
	2	9・10	SP	イ	リテリング	SP3□	教科書に出てくる簡単な語句や文を用いて、イラスト等を用いながら内容を説明し、自分の言葉も使って相手に伝えることができる。
	2	9・10	W	イ	考查	W3□	賛成や反対の立場を明記しながら、基本的な語句や文を用いて自分の考えを書くことができる。

英語コミュニケーション I 科目の目標

聞くこと	ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。
読むこと	ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。
「やり取りすること」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができる。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。
「話発すこと」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。
書くこと	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。

【様式1】 CAN-DO LIST 2026

学校名:	鹿児島県立徳之島	高等学校	大学科:	普通科
科目名:	英語コミュニケーションⅡ		学年	2年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価方法	学期	CS
Listening	L1 <input type="checkbox"/>	理解した内容について、情報の要点や考え、気持ちをまとめるために、紹介や報告、対話などの日常的な話題について、話される速さや、一定の支援を活用すれば、話された文章を聞いて、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができる。	1~5	考査	1、2	ア
	L2 <input type="checkbox"/>	理解した内容について、情報の要点や考え、気持ちをまとめたり、伝えたりするために、社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、話された文章を聞いて、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。	6~10	考査	2、3	イ
Reading	R1 <input type="checkbox"/>	理解した内容について、気持ちをまとめたり、伝えたりするために、日常的な話題について、一定の支援を活用すれば、書かれた文章から、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。	1~5	考査	1、2	ア
	R2 <input type="checkbox"/>	理解した内容について、情報の要点や考え、気持ちをまとめたり、伝えたりするために、紹介や報告、対話などの社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、書かれた文章から、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。	6~10	考査	2、3	イ
Speaking Interaction	SI1 <input type="checkbox"/>	理解した内容について、情報を説明したり、考えや気持ちを伝えたりするために、紹介や報告、対話などの日常的な話題について、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の文で詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。	1~5	パフォーマンス テスト	1、2	ア
	SI2 <input type="checkbox"/>	理解した内容について、情報を説明したり、考えや気持ちを伝えたりするために、社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、論理性に注意して複数の文で詳しく話して伝え合ったりすることができる。	6~10	パフォーマンス テスト	2、3	イ
Speaking Presentation	SP1 <input type="checkbox"/>	理解した内容について、情報を整理して説明したり、考えや気持ちを伝えたりするために、紹介や報告、対話などの日常的な話題について、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを伝えることができる。	1~5	パフォーマンス テスト	1、2	ア
	SP2 <input type="checkbox"/>	理解した内容について、情報を整理して説明したり、考えや気持ちを伝えたりするために、社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、複数の文で論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。	6~10	パフォーマンス テスト	2、3	イ
Writing	W1 <input type="checkbox"/>	理解した内容について、情報を整理して説明したり、考えや気持ちを伝えたりするために、紹介や報告、対話などの日常的な話題について一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく書いて伝えることができる。	1~5	考査	1、2	ア
	W2 <input type="checkbox"/>	理解した内容について、情報を整理して説明したり、考えや気持ちを伝えたりするために、紹介や報告、対話などの日常的な話題や社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて論理性に注意して、複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。	6~10	考査	2、3	イ

※一番右の欄のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式1】

CAN-DO LIST 2026

学校名:	鹿児島県立徳之島	高等学校	大学科:	総合学科
科目名:	英語コミュニケーションⅡ		学年	2年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価方法	学期	CS
Listening	L1 □	日本食に関する話題について、イラストや語彙の補助を用いてゆっくりはっきりと話されれば、話し手の意図の概要を理解することができる。	2	考查	1学期	ア
	L2 □	日本文化について、イラストや語彙の補助を用いてゆっくりはっきりと話されれば、話し手の意図の概要を理解することができる。	4	考查	2学期	ア
	L3 □	物語の流れについて、ゆっくりはっきりと話されれば、話し手の意図の概要を理解することができる。	6	考查	3学期	イ
Reading	R1 □	日本食に関する話題について、イラストや語彙の補助を用いてゆっくりはっきりと話されれば、話し手の意図の概要を理解することができる。	2	考查	1学期	ア
	R2 □	日本文化に関する話題について、イラストや写真等を参考にしながら、書き手の意図を把握することができる。	4	考查	2学期	ア
	R3 □	物語を読み、語彙や文法の指導があれば、書き手の意図を把握することができる。	6	考查	3学期	イ
Speaking Interaction	SI1 □	自分が好きな日本食やそれに関する説明について、応答や質問の表現を参考にしながら、インタビュー形式でやりとりすることができる。	2	インタビューテスト	1学期	ア
	SI2 □	気になる日本の文化について、応答や質問の表現を参考にしながら、インタビュー形式でやりとりすることができる。	4	インタビューテスト	2学期	ア
	SI3 □	物語を読んで感じたことについて、あらかじめ答えを用意し、インタビュー形式でやりとりすることができる。	6	インタビューテスト	3学期	イ
Speaking Presentation	SP1 □	日本食とその歴史について学んだことを、視覚的資料や語彙の提示があれば、基本的な表現を用いて発表することができる。	2	インタビューテスト	1学期	ア
	SP2 □	日本の文化について学んだことを、視覚的資料や語彙の提示があれば、基本的な表現を用いて発表することができる。	4	インタビューテスト	2学期	ア
	SP3 □	物語について学んだことを、視覚的資料を用い、自分の言葉で発表することができる。	5	インタビューテスト	3学期	イ
Writing	W1 □	日本食とその歴史について話して発表したことを、少しの語彙の提示があれば、基本的な表現を用いて30～40語の英作文を書くことができる。	2	エッセイ	1学期	ア
	W2 □	日本文化について、少しの語彙の提示があれば、基本的な表現を用いて30～40語の紹介文を英語で書くことができる。	4	エッセイ	2学期	ア
	W3 □	自分の好きな本、映画について、少しの語彙の提示があれば、基本的な表現を用いて40～50語の英作文を書くことができる。	6	エッセイ	3学期	イ

※左のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2026

学校名:	鹿児島県立徳之島	高等学校	学 年:	2年
科目名:	英語コミュニケーションⅡ		大学科:	普通科

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	6	3	L	ア	定期考査	L1□	スポーツ選手についての会話を、はっきりと話されれば、話し手の意図を把握し、おおまかに要点を理解することができる。
	6	3・4	R	ア	定期考査	R1□	社会や環境に関する話題について、イラスト等を参考にしながら、書き手の意図を把握することができる。
	6	4	SI	ア	パフォーマンステスト	SI1□	自動販売機の社会におけるこれからの役割について、視覚的資料を参考にしながら、インタビュー形式でやりとりすることができる。
	6	4	SP	ア	パフォーマンステスト	SP2□	本単元で学んだ自動販売機の社会におけるこれからの役割について、自分なりの考えを視覚的資料を用いながら、発表することができる。
	6	4	W	ア	考査	W1□	本単元で学んだ自動販売機の社会におけるこれからの役割について、自分なりの考えをについて、語句や表現の支援を活用しながら書くことができる。
2	11	5・6	L	ア	考査	L1□	ブレイルノイエやキャッシュレス社会について、ゆっくりはっきりと話されれば、話し手の意図を把握し、おおまかに要点を理解することができる。
	11	5・6	R	ア	考査	R1□	福祉や経済に関する話題について、イラストや写真等を参考にしながら、書き手の意図を把握することができる。
	11	5	SI	ア	パフォーマンステスト	SI2□	ブレイルノイエの利点や可能性について、視覚的資料を参考にしながら、表現の補助を使用しながらインタビュー形式でやりとりすることができる。
	11	6	SP	イ	パフォーマンステスト	SP2□	世界のキャッシュレス化について調べた内容を自分なりの考えを視覚的資料を用いながら、発表することができる。
	11	5	W	ア	定期考査	W2□	ブレイルノイエの利点や活用方法について、論理的に内容をまとめ、エッセイを書くことができる。
3	2	9・10	L	イ	定期考査	L2□	昔のアメリカにおける女性の就労に関する英文やロボットに関する英文の要点を聞いて理解することができる。
	2	9・10	R	イ	定期考査	R2□	日常生活や環境に関する話題について、語彙の指導があれば、書き手の意図を把握することができる。
	2	9	SI	イ	パフォーマンステスト	SI2□	バシー・コールマンになりきり、その人の経験について、表現の補助を使用しながら、インタビュー形式でやりとりすることができる。
	2	9	SP	イ	パフォーマンステスト	SP2□	バシー・コールマンについて、視覚的資料を用いながら、発表するとともに、自分の意見を付け足すことができる。
	2	9	W	イ	定期考査	W2□	バシー・コールマンについて、リテリングで用いた表現を用いながら、自分の意見を書くことができる。

【様式2】年間指導計画 2026

学校名:	鹿児島県立徳之島	高等学校	学年:	2年
科目名:	英語コミュニケーションⅡ		大学科:	総合学科

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	6	2	L	ア	考查	L1□	日本食に関する話題について、イラストや語彙の補助を用いてゆっくりはっきりと話されれば、話し手の意図の概要を理解することができる。
	6	2	R	ア	考查	R1□	日本食に関する話題について、イラストや語彙の補助を用いてゆっくりはっきりと話されれば、話し手の意図の概要を理解することができる。
	6	2	SI	ア	パフォーマンステスト	SI1□	自分が好きな日本食やそれに関する説明について、応答や質問の表現を参考にしながら、インタビュー形式でやりとりすることができる。
	6	2	SP	ア	パフォーマンステスト	SP1□	日本食とその歴史について学んだことを、視覚的資料や語彙の提示があれば、基本的な表現を用いて発表することができる。
	6	2	W	ア	エッセイ	W1□	日本食とその歴史について話して発表したことを、少しの語彙の提示があれば、基本的な表現を用いて30～40語の英作文を書くことができる。
2	11	4	L	ア	考查	L2□	日本のガチャガチャについて、イラストや語彙の補助を用いてゆっくりはっきりと話されれば、話し手の意図の概要を理解することができる。
	11	4	R	ア	考查	R2□	文化に関する話題について、イラストや写真等を参考にしながら、書き手の意図を把握することができる。
	11	4	SI	ア	パフォーマンステスト	SI2□	気になる日本の文化について、応答や質問の表現を参考にしながら、インタビュー形式でやりとりすることができる。
	11	4	SP	ア	パフォーマンステスト	SP2□	日本特有の文化について学んだことを、視覚的資料や語彙の提示があれば、基本的な表現を用いて発表することができる。
	11	4	W	ア	エッセイ	W2□	日本特有の文化について話して発表したことを、少しの語彙の提示があれば、基本的な表現を用いて30～40語の英作文を書くことができる。
3	2	6	L	イ	考查	L3□	物語について、ゆっくりはっきりと話されれば、話しの概要を理解することができる。
	2	6	R	イ	考查	R3□	物語について、語彙の指導があれば、書き手の意図を把握することができる。
	2	6	SI	イ	パフォーマンステスト	SI3□	物語を読んで感じたことについて、あらかじめ答えを用意し、インタビュー形式でやりとりすることができる。
	2	6	SP	イ	パフォーマンステスト	SP3□	物語について学んだことを、視覚的資料を用い、自分の言葉で発表することができる。
	2	6	W	イ	エッセイ	W3□	自分の好きな本、映画について、少しの語彙の提示があれば、基本的な表現を用いて40～50語の英作文を書くことができる。

英語コミュニケーションⅡ 科目の目標

聞くこと	ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。
読むこと	ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。
「や話し取りこと」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができるようにする。
「話発すこと」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。
書くこと	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

【様式1】 CAN-DO LIST 2026

学校名:	鹿児島県立徳之島	高等学校	大学科:	普通科
科目名:	英語コミュニケーションⅢ		学年	3年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価方法	学期	CS
Listening	L1 <input type="checkbox"/>	図書館やスポーツ選手について、話される速さの支援がほとんどなくても、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができる。	1・2	考査	1	ア
	L2 <input type="checkbox"/>	イグノーベル賞について、話される速さ、使用される語句や文の支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができる。	5	考査	2	ア
	L3 <input type="checkbox"/>	文化的な話題について、話される速さの支援がほとんどなくても、話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。	9・10	考査	3	イ
Reading	R1 <input type="checkbox"/>	自然科学の話題について、使用される語句の支援がほとんどなくても、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。	3	考査	1	ア
	R2 <input type="checkbox"/>	科学的な話題について、情報の支援がほとんどなくても、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。	5・6	考査	2	イ
	R3 <input type="checkbox"/>	文化的な話題について、情報の支援がほとんどなくても、話の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。	9・10	考査	3	イ
Speaking Interaction	SI1 <input type="checkbox"/>	自然科学に関する話題について、簡単な語句等の支援がほとんどなくても、目的や場面、状況などに応じて伝え合うやり取りを続け、会話を発展させることができる。	3	インタビュー	1	ア
	SI2 <input type="checkbox"/>	文化的な話題について、簡単な語句等の支援がほとんどなくても、目的や場面、状況などに応じて伝え合うやり取りを続け、会話を発展させることができる。	6	ディベート	2	ア
	SI3 <input type="checkbox"/>	文化的な話題について、簡単な語句等の支援がほとんどなくても、目的や場面、状況などに応じて伝え合うやり取りを続け、要点を伝え、会話を発展させることができる。	9	ディベート	3	イ
Speaking Presentation	SP1 <input type="checkbox"/>	ある人物について、事前準備などにおいて支援をほとんど活用せず、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて詳しく話し伝えることができる。	2	スピーチ	1	ア
	SP2 <input type="checkbox"/>	自然に関する話題について支援をほとんど活用せず、読み聞きしたことを基に、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考えを論理的に詳しく話して伝えることができる。	4	スピーチ	2	イ
	SP3 <input type="checkbox"/>	動物に関する話題について、支援をほとんど活用せず、読み聞きしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができる。	10	スピーチ	3	イ
Writing	W1 <input type="checkbox"/>	話した内容について、支援をほとんど活用しなくても、情報などを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができる。	2	エッセイ	1	ア
	W2 <input type="checkbox"/>	話した内容について、支援をほとんど活用しなくても、情報などを複数の段落から成る文章で目的に応じて論理的に詳しく書いて伝えることができる。	4	エッセイ	2	イ
	W3 <input type="checkbox"/>	話した内容について、支援をほとんど活用しなくても、情報などを複数の段落から成る文章で目的に応じて論理的に詳しく書いて伝えることができる。	10	エッセイ	3	イ

※一番右の欄のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2026

学校名:	鹿児島県立徳之島	高等学校	学 年:	3年
科目名:	英語コミュニケーションⅢ		大学科:	普通科

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	6	1・2	L	ア	考查	L1□	図書館やスポーツ選手について、話される速さの支援がほとんどなくても、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができる。
	6	3	R	ア	考查	R1□	自然科学の話題について、使用される語句の支援がほとんどなくても、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。
	6	3	SI	ア	インタビュー	SI1□	自然科学に関する話題について、簡単な語句等の支援がほとんどなくても、目的や場面、状況などに応じて伝え合うやり取りを続け、会話を発展させることができる。
	6	2	SP	ア	スピーチ	SP1□	ある人物について、事前準備などにおいて支援をほとんど活用せず、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて詳しく話し伝えることができる。
2	6	2	W	ア	エッセイ	W1□	話した内容について、支援をほとんど活用しなくても、情報などを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができる。
	11	5	L	ア	考查	L2□	イグノーベル賞について、話される速さ、使用される語句や文の支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができる。
	11	5・6	R	イ	考查	R2□	科学的な話題について、情報の支援がほとんどなくても、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。
	11	6	SI	イ	ディベート	SI2□	文化的な話題について、簡単な語句等の支援がほとんどなくても、目的や場面、状況などに応じて伝え合うやり取りを続け、会話を発展させることができる。
	11	4	SP	イ	スピーチ	SP2□	自然に関する話題について支援をほとんど活用せず、読み聞きしたことを基に、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考え、を論理的に詳しく話して伝えることができる。
11	4	W	イ	エッセイ	W2□	話した内容について、支援をほとんど活用しなくても、情報などを複数の段落から成る文章で目的に応じて論理的に詳しく書いて伝えることができる。	
3	2	9・10	L	イ	考查	L3□	文化的な話題について、話される速さの支援がほとんどなくても、話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。
	2	9・10	R	イ	考查	R3□	文化的な話題について、情報の支援がほとんどなくても、話の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。
	2	9	SI	イ	ディベート	SI3□	文化的な話題について、簡単な語句等の支援がほとんどなくても、目的や場面、状況などに応じて伝え合うやり取りを続け、要点を伝え、会話を発展させることができる。
	2	10	SP	イ	スピーチ	SP3□	動物に関する話題について、支援をほとんど活用せず、読み聞きしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができる。
	2	10	W	イ	エッセイ	W3□	話した内容について、支援をほとんど活用しなくても、情報などを複数の段落から成る文章で目的に応じて論理的に詳しく書いて伝えることができる。

【様式1】 CAN-DO LIST 2026

学校名:	鹿児島県立徳之島	高等学校	大学科:	総合学科
科目名:	英語コミュニケーションⅡ		学年	3年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価方法	学期	CS
Listening	L1 <input type="checkbox"/>	命の大切さについて、情報の要点や考えをまとめるために、話される速さの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。	6	考査	1	ア
	L2 <input type="checkbox"/>	色の不思議について、情報の要点や考えをまとめるために、話される速さの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。	8	考査	2	ア
	L3 <input type="checkbox"/>	自撮り文化について、情報の要点や考えをまとめるために、話される速さの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。	10	考査	3	イ
Reading	R1 <input type="checkbox"/>	命の大切さについて、支援を活用すれば、書かれた文章から、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。	6	考査	1	ア
	R2 <input type="checkbox"/>	色の不思議について、支援を活用すれば、書かれた文章から、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。	8	考査	2	ア
	R3 <input type="checkbox"/>	自撮り文化について、支援を活用すれば、書かれた文章から、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。	10	考査	3	イ
Speaking Interaction	SI1 <input type="checkbox"/>	命の大切さについて、支援を活用すれば、読み聞きしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを複数の文で伝え合うやり取りを続けることができる。	6	インタビュー	1	ア
	SI2 <input type="checkbox"/>	色の不思議について、支援を活用すれば、読み聞きしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを複数の文で伝え合うやり取りを続けることができる。	8	インタビュー	2	ア
	SI3 <input type="checkbox"/>	自撮り文化について、支援を活用すれば、読み聞きしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを複数の文で伝え合うやり取りを続けることができる。	10	インタビュー	3	イ
Speaking Presentation	SP1 <input type="checkbox"/>	命の大切さについて、支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを伝えることができる。	6	プレゼンテーション	1	ア
	SP2 <input type="checkbox"/>	色の不思議について、支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを伝えることができる。	8	プレゼンテーション	2	ア
	SP3 <input type="checkbox"/>	自撮り文化について、支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを伝えることができる。	10	リテリング	3	イ
Writing	W1 <input type="checkbox"/>	命の大切さについて、支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく書いて伝えることができる。	6	考査	1	ア
	W2 <input type="checkbox"/>	色の不思議について、支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく書いて伝えることができる。	8	考査	2	ア
	W3 <input type="checkbox"/>	自撮り文化について、支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく書いて伝えることができる。	10	考査	3	イ

※一番右の欄のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】年間指導計画 2026

学校名:	鹿児島県立徳之島	高等学校	学年:	3年
科目名:	英語コミュニケーションⅡ		大学科:	総合学科

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	6	6	L	ア	考查	L1□	命の大切さについて、情報の要点や考えをまとめるために、話される速さの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。
	6	6	R	ア	考查	R1□	命の大切さについて、支援を活用すれば、書かれた文章から、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。
	6	6	SI	ア	インタビュー	SI1□	命の大切さについて、支援を活用すれば、読み聞きしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを複数の文で伝え合うやり取りを続けることができる。
	6	6	SP	ア	プレゼンテーション	SP1□	命の大切さについて、支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを伝えることができる。
	6	6	W	ア	考查	W1□	命の大切さについて、支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく書いて伝えることができる。
2	11	8	L	ア	考查	L2□	色の不思議について、情報の要点や考えをまとめるために、話される速さの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。
	11	8	R	ア	考查	R2□	色の不思議について、支援を活用すれば、書かれた文章から、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。
	11	8	SI	ア	インタビュー	SI2□	色の不思議について、支援を活用すれば、読み聞きしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを複数の文で伝え合うやり取りを続けることができる。
	11	8	SP	ア	プレゼンテーション	SP2□	色の不思議について、支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを伝えることができる。
	11	8	W	ア	考查	W2□	色の不思議について、支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく書いて伝えることができる。
3	2	10	L	イ	考查	L3□	自撮り文化について、情報の要点や考えをまとめるために、話される速さの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。
	2	10	R	イ	考查	R3□	自撮り文化について、支援を活用すれば、書かれた文章から、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。
	2	10	SI	イ	インタビュー	SI3□	自撮り文化について、支援を活用すれば、読み聞きしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを複数の文で伝え合うやり取りを続けることができる。
	2	10	SP	イ	リテリング	SP3□	自撮り文化について、支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちを伝えることができる。
	2	10	W	イ	考查	W3□	自撮り文化について、支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく書いて伝えることができる。

英語コミュニケーションⅢ 科目の目標

聞くこと	ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。
読むこと	ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。
「やり取りすること」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができるようにする。
「発表すること」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。
書くこと	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。

【様式1】 CAN-DO LIST 2026

学校名:	鹿児島県立徳之島	高等学校	大学科:	普通科
科目名:	論理表現 I		学年	1年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価方法	学期	CS
Listening	L1 <input type="checkbox"/>	図書館やスポーツ選手について、話される速さの支援がほとんどなくても、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができる。	1・2	考査	1	ア
	L2 <input type="checkbox"/>	イグノーベル賞について、話される速さ、使用される語句や文の支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができる。	5	考査	2	ア
	L3 <input type="checkbox"/>	文化的な話題について、話される速さの支援がほとんどなくても、話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。	9・10	考査	3	イ
Reading	R1 <input type="checkbox"/>	自然科学の話題について、使用される語句の支援がほとんどなくても、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。	3	考査	1	ア
	R2 <input type="checkbox"/>	科学的な話題について、情報の支援がほとんどなくても、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。	5・6	考査	2	イ
	R3 <input type="checkbox"/>	文化的な話題について、情報の支援がほとんどなくても、話の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。	9・10	考査	3	イ
Speaking Interaction	SI1 <input type="checkbox"/>	週末の予定や食文化について、教科書のフレーズを活用しながら相手と意見交換することができる。	3・4	インタビュー ビューテスト	1学期	ア
	SI2 <input type="checkbox"/>	スポーツや科学技術について、イラストや単語を活用しながら相手と意見交換することができる。	7・8	インタビュー ビューテスト	2学期	ア
	SI3 <input type="checkbox"/>	SDGsに関する事柄について、賛成や反対の立場を明確にししながら自分の意見を述べるすることができる。	9・10	インタビュー ビューテスト	3学期	イ
Speaking Presentation	SP1 <input type="checkbox"/>	展開や表現を工夫しながら、予定について発表したり、好きな食べ物の作り方を発表したりすることができる。	3・4	ポスター セッション	1学期	ア
	SP2 <input type="checkbox"/>	展開や表現を工夫しながら、イラストを用いながら、自分の好きなスポーツについて伝えることができる。	7・8	スピーチ	2学期	ア
	SP3 <input type="checkbox"/>	やりとりの中で得た情報をもとに、SDGsに関する事柄について自分の意見を論理立てて説明することができる。	9・10	スピーチ	3学期	イ
Writing	W1 <input type="checkbox"/>	やりとりや発表で得た情報や発見を活用し、基本的な文を用いて英文を書くことができる。	3・4	エッセーライ ティング	1学期	ア
	W2 <input type="checkbox"/>	基本的な語彙や表現を用いて、好きなスポーツについて50語程度で理由とともに英文を書くことができる。	7・8	エッセーライ ティング	2学期	イ
	W3 <input type="checkbox"/>	やりとりや発表で得た情報や発見を活用し、あらかじめ用意した材料をもとに、80語程度で英文を書くことができる。	9・10	エッセーライ ティング	3学期	イ

※一番右の欄のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2026

学校名:	鹿児島県立徳之島	高等学校	学 年:	1年
科目名:	論理表現 I		大学科:	普通科

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	6	3・4	SI	ア	インタビュー	SI1□	週末の予定や食文化について、教科書のフレーズを活用しながら相手と意見交換することができる。
	6	3・4	SP	ア	ポスターセッション	SP1□	展開や表現を工夫しながら、予定について発表したり、好きな食べ物の作り方を発表したりすることができる。
	6	3・4	W	ア	エッセーライティング	W1□	やりとりや発表で得た情報や発見を活用し、基本的な文を用いて英文を書くことができる。
2	6	2	W	ア	エッセイ	W1□	話した内容について、支援をほとんど活用しなくても、情報などを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができる。
	11	7・8	SI	ア	インタビュー	SI2□	スポーツや科学技術について、イラストや単語を活用しながら相手と意見交換することができる。
	11	7・8	SP	ア	スピーチ	SP2□	展開や表現を工夫しながら、イラストを用いながら、自分の好きなスポーツについて伝えることができる。
	11	7・8	W	イ	エッセーライティング	W2□	基本的な語彙や表現を用いて、好きなスポーツについて50語程度で理由とともに英文を書くことができる。
3	2	9・10	SI	イ	インタビュー	SI3□	SDGsに関する事柄について、賛成や反対の立場を明確にししながら自分の意見を述べるすることができる。
	2	9・10	SP	イ	スピーチ	SP3□	やりとりの中で得た情報をもとに、SDGsに関する事柄について自分の意見を論理立てて説明することができる。
	2	9・10	W	イ	エッセーライティング	W3□	やりとりや発表で得た情報や発見を活用し、あらかじめ用意した材料をもとに、80語程度で英文を書くことができる。

論理表現 I 科目の目標

<p>「やり取りすること」</p>	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。</p>
	<p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにする。</p>
<p>「話すこと」</p>	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p>
	<p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p>
<p>書くこと</p>	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>
	<p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>
<p>「話すこと」</p>	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。</p>
	<p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。</p>
<p>書くこと</p>	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>
	<p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>

【様式1】 CAN-DO LIST 2026

学校名:	鹿児島県立徳之島	高等学校	大学科:	普通科
科目名:	論理表現Ⅱ		学年	2年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価方法	学期	CS
Speaking Interaction	SI1 <input type="checkbox"/>	自分の経験や未来の予定について多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合うことができる。	1~3	パフォーマンステスト	1	ア
	SI2 <input type="checkbox"/>	日本の文化、世界の物事について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合うことができる。	4~6	パフォーマンステスト	2	イ
	SI3 <input type="checkbox"/>	社会的テーマについて、自分の意見や主張を、多様な語句や文を用いて、理由とともに詳しく賛成や反対を述べるができる。	7~10	パフォーマンステスト	3	イ
Speaking Presentation	SP1 <input type="checkbox"/>	最新のものについて、多様な語句や文を用いて、情報を整理し、詳しく話して紹介することができる。	2	パフォーマンステスト	1	イ
	SP2 <input type="checkbox"/>	情報や自分の考えを整理し、論理の構成や展開を工夫して詳しくジェスチャーなどを交えながら発表できる。	4~6	パフォーマンステスト	2	イ
	SP3 <input type="checkbox"/>	様々なテーマについて、情報や自分の考え、気持ちを整理し、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えることができる。	8、10	パフォーマンステスト	3	イ
Writing	W1 <input type="checkbox"/>	身の回りの出来事について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちを整理し、詳しく書くことができる。	1~3	定期考査	1	ア
	W2 <input type="checkbox"/>	社会の状況について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちを整理し、論理の構成や展開を工夫して詳しく書くことができる。	4~6	定期考査	2	イ
	W3 <input type="checkbox"/>	社会問題について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを整理し、論理の構成や展開を工夫して詳しく書くことができる。	7~10	定期考査	3	イ

※一番右の欄のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2026

学校名:	鹿児島県立徳之島	高等学校	学 年:	2年
科目名:	論理表現Ⅱ		大学科:	普通科

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	6	3	SI	ア	インタビューテスト	SI1□	日常的な話題について、使用する語句を提示し、文脈を与えられれば、インタビュー形式でやりとりすることができる。
	6	3	SP	ア	プレゼンテーション	SP1□	未来の技術について、少しの語句を用意し、イラスト等を用いれば、意見を発表することができる。
	6	3	W	イ	定期考査	W1□	未来の技術について発表したことを、少しの表現の補助を用いながら書くことができる。
2	6	2	W	ア	エッセイ	W1□	話した内容について、支援をほとんど活用しなくても、情報などを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができる。
	12	5	SI	ア	インタビューテスト	SI2□	身近な話題について、動名詞を用いた表現を提示されれば、インタビュー形式でやりとりすることができる。
	12	5	SP	ア	プレゼンテーション	SP2□	修学旅行で体験して紹介したいことについて、少しの語句を用意し、イラスト等を用いれば、意見を発表することができる。
	12	5	W	イ	定期考査	W2□	修学旅行で体験して紹介したいことについて、少しの表現の補助を用いながら書くことができる。
3	2	9	SI	ア	インタビューテスト	SI3□	日常的な話題について、イラスト等を参考にすれば、基本的な語句を用いて話して伝え合うことができる。
	2	9	SP	ア	プレゼンテーション	SP3□	貧困問題や食糧問題について、イラスト等を用い、基本的な表現を駆使しながら自分の意見を発表することができる。
	2	9	W	イ	定期考査	W3□	貧困問題や食糧問題についての自分の考えを論理的に組み立て、説得力のある文章を書くことができる。

論理表現Ⅱ 科目の目標

「や話し取りこと」	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合ったり、立場や状況が異なる相手と交渉したりすることができるようにする。</p>
	<p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張、問題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p>
「話すこと」	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p>
	<p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p>
「書くこと」	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>
	<p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>

【様式1】 CAN-DO LIST 2026

学校名:	鹿児島県立徳之島	高等学校	大学科:	普通科
科目名:	論理表現Ⅲ		学年	3年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価方法	学期	CS
Speaking Interaction	SI1 <input type="checkbox"/>	身の回りの話題について支援をほとんど活用しなくても、状況などに応じて適切に語句を用いて考えを整理して話して伝え合うことができる。	4	インタビュー	1	ア
	SI2 <input type="checkbox"/>	学校に関する話題について、支援をほとんど活用しなくても、ディベートを通して、多様な語句を状況などに応じて適切に用いて、詳しく話して伝え合うことができる。	6	ディベート	2	イ
	SI3 <input type="checkbox"/>	社会的な話題について、支援をほとんど活用しなくても、ディベートを通して、多様な語句を状況などに応じて適切に用いて、詳しく話して伝え合うことができる。	9	ディベート	3	イ
Speaking Presentation	SP1 <input type="checkbox"/>	身の回りの話題について、支援をほとんど活用しなくても、事前に用意した資料を用い自分の意見を話して伝えることができる。	4	リテリング	1	ア
	SP2 <input type="checkbox"/>	学校に関する話題について、使用する語句や文、支援をほとんど活用しなくても、スピーチを通して、資料を活用しながら、情報を詳しく話して伝えることができる。	6	スピーチ	2	イ
	SP3 <input type="checkbox"/>	社会的な話題について、使用する語句や文、支援をほとんど活用しなくても、スピーチを通して、資料を活用しながら、情報を詳しく話して伝えることができる。	9	スピーチ	3	イ
Writing	W1 <input type="checkbox"/>	身の回りの話題について、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考えを、読み手を説得できるよう書いて伝えることができる。	4	エッセイ	1	ア
	W2 <input type="checkbox"/>	学校に関する話題について、支援をほとんど活用しなくても、意見や主張などを、読み手を説得できるよう詳しく書いて伝えることができる。	6	エッセイ	2	イ
	W3 <input type="checkbox"/>	社会的な話題について、支援をほとんど活用しなくても、意見や主張などを、読み手を説得できるよう詳しく書いて伝えることができる。	9	エッセイ	3	イ

※一番右の欄のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2026

学校名:	鹿児島県立徳之島	高等学校	学 年:	3年
科目名:	論理表現Ⅲ		大学科:	普通科

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	6	4	SP	ア	インタビュー	SI1□	身の回りの話題について支援をほとんど活用しなくても、状況などに応じて適切に語句を用いて考えを整理して話して伝え合うことができる。
	6	4	SI	ア	リテリング	SP1□	身の回りの話題について、支援をほとんど活用しなくても、事前に用意した資料を用い自分の意見を話して伝えることができる。
	6	4	W	ア	エッセイ	W1□	身の回りの話題について、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を適切に用いて、情報や考えを、読み手を説得できるよう書いて伝えることができる。
2	11	6	SP	イ	ディベート	SI2□	校に関する話題について、支援をほとんど活用しなくても、ディベートを通して、多様な語句を状況などに応じて適切に用いて、詳しく話して伝え合うことができる。
	11	6	SI	イ	スピーチ	SP2□	学校に関する話題について、使用する語句や文、支援をほとんど活用しなくても、スピーチを通して、資料を活用しながら、情報を詳しく話して伝えることができる。
	11	6	W	イ	エッセイ	W2□	学校に関する話題について、支援をほとんど活用しなくても、意見や主張などを、読み手を説得できるよう詳しく書いて伝えることができる。
3	2	9	SP	イ	ディベート	SI3□	社会的な話題について、支援をほとんど活用しなくても、ディベートを通して、多様な語句を状況などに応じて適切に用いて、詳しく話して伝え合うことができる。
	2	9	SI	イ	スピーチ	SP3□	社会的な話題について、使用する語句や文、支援をほとんど活用しなくても、スピーチを通して、資料を活用しながら、情報を詳しく話して伝えることができる。
	2	9	W	イ	エッセイ	W3□	社会的な話題について、支援をほとんど活用しなくても、意見や主張などを、読み手を説得できるよう詳しく書いて伝えることができる。

論理・表現Ⅲ 科目の目標

<p>「や話すこと 取り こと」</p>	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、課題を解決することができるよう、情報や考え、気持ちなどを整理して話して伝え合うことができるようにする。</p>
	<p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張、課題の解決策などを、聞き手に説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p>
<p>「話すこと 発表」</p>	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、聞き手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p>
	<p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張などを、聞き手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p>
<p>書くこと</p>	<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、読み手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>
	<p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張などを、読み手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>